

## 平成 29 年度 第 6 回政策討論会第一分科会要点記録

|     |                                                                               |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時 | 平成 29 年 12 月 5 日（火）午後 3 時 00 分～ 3 時 30 分                                      |
| 場 所 | 第一委員会室                                                                        |
| 出席者 | 岡林 憲二（座長）<br>今口 千代子（副座長）<br>金子 拓矢<br>南 加代子<br>井上 博<br>米田 貴志<br>井上 源次<br>稲田 悦治 |

### 討論テーマ「各地区市民センターの運営について」

○市民センターの多岐にわたる業務内容を周知すると同時に、改めてセンターの運営について課題を洗いだし、利用者を含めた地域住民への細部にわたるアンケート調査を実施した上で課題を整理し、今後市民センター業務のあり方を全面的に再検討すべきではないか。

○市内 5 カ所の市民センターは原市長の時代に総合計画で位置づけられた 6 館構想に基づき設置するとされたものである。

その主旨は市内を 6 カ所の地域に分け、それぞれの地域の特色を生かした市民活動ができるようにすることと、現庁舎が市域の南西部の端にあることから地域の利便性を高められるようにするため、当時のサービスセンター業務を拡大し、且つ公民館業務と図書館業務を兼ね備えた複合施設とし地域のコミュニティーの核となるべく設置したもので、今後、少子高齢化が進んでいく中で市民センターの活用をより一層高めるように検討していくべきと考える。

○市民センターの公民館活動における貸し室の利用状況について、再度確認したところ、各センターとも多目的室については 80%～90%利用されている。会議、研修会、スポーツ、社交ダンスなど活発に使われている。全体の利用状況のデーターの取り方は自治体によって違う。例えばあるところは、朝、昼、夜で 1 回でも使えば 1 サイクルとカウントするところもあるれば、岸和田で朝のみなら、3 分の 1 とカウントするので、公表しにくいところである、とのことである。いずれにしても地域のコミュニティ活動の拠点としてなくてはならないものである。委員長から提案された運営についての課題については適切に提案されていると思う。

○アンケートによる現状の把握がこれまでにしているのでまとめには追記されたい。